

公益財団法人キワニス日本財団 2018 年度事業報告書
(2018 年 10 月 1 日～2019 年 9 月 30 日)

1. 法人の状況に関する重要な事項

1. 実施事業

(1) 国内公益的事業助成（公①事業）

- 各地のキワニスクラブが行う次の 13 事業に対し総計 2,709,500 円の助成をした。その財源は KCF が日本に保有する口座から KCF 理事会の承認を得て支出された助成金及び日本地区からの助成金である。
 - ① 東京クラブの「寺子屋」事業(こども食堂に加え、勉強会を開催) 300,000 円
 - ② 東京クラブの青少年教育賞表彰式ならびに青少年社会奉仕団体との交流推進事業 300,000 円
 - ③ 名古屋クラブの「名古屋キワニス奨学金」社会的養護の下に育ち就職活動時期を迎えた学生を支援 250,000 円
 - ④ 神戸クラブの「わくわく子ども化学実験教室」 70,000 円
 - ⑤ 神戸クラブとカナディアン・キークラブ 共同開催「東日本震災で被災した岩手県立大船渡高校への修学旅行補助費 300,000 円
 - ⑥ 神戸クラブとカナディアン・キークラブ 共同開催「神戸キワニス文庫への寄贈及び読み聞かせの会 100,000 円
 - ⑦ 京都クラブの「こども料理教室」 25,000 円
 - ⑧ 和歌山クラブの「第 23 回青少年のメッセージ“きらり”」 134,500 円
 - ⑨ 和歌山クラブの「和歌山大学留学生向け通学用自転車の寄贈」 120,000 円
 - ⑩ 鹿児島クラブ「青少年育成事業 夏の体験キャンプ」 210,000 円
 - ⑪ 長崎クラブ「長崎市内幼児・児童への花育活動」 300,000 円
 - ⑫ 大分クラブ「キッズフェスタ」 300,000 円
 - ⑬ 徳島クラブ「チャリティーコンサートとドール寄贈」 300,000 円

- 一般公募に係る次の 5 事業に対し総計 1,300,000 円を助成した。その財源は日本地区からの助成金及び会員からの寄附である。
 - ① 名古屋クラブ推薦「小児脊柱変形疾患手帳」アプリ作成コストの助成 300,000 円
 - ② 名古屋クラブ推薦 中高生対象「命を大切にする教室」開催 250,000 円
 - ③ 和歌山クラブ推薦 小学 1 年生に対する「きしゅう君の防犯下敷き」配布事業 300,000 円
 - ④ 西宮クラブ推薦 「第 9 回臓器移植を受けた子ども達のサマーキャンプ」 300,000 円
 - ⑤ S P ジャパン 「刺繍でボランティア」 150,000 円

(2) 文化・芸術の表彰事業（公②事業）

「日本キワニス文化賞」は、静岡県「浦川歌舞伎保存会」に決定されていたが、当保存会が後継者難、資金難等から活動を停止することが明らかになった。このため当保存会側から受賞を辞退したい旨申し出があったため、本年の「日本キワニス文化賞」は該当なしとなった。但し、準備金として支払っている 20 万円は、既に授与式用ビデオを制作済みであったので、これに充当。財源は日本地区からの助成金である。 200,000 円

(3) 災害援助（公③事業）

平成 30 年北海道胆振東部地震につき募金活動を行い、2,732,400 円が集まった。
昨年からの寄付額を合わせ、2,812,420 円を札幌クラブ選定の下、厚真町、安平町、むかわ町のこども園・保育所等の子どもの施設に対して直接支援することが出来た。

(4) 英雄的自己犠牲行為の表彰（公④事業）

藤元 尚氏、我妻広志氏、岡田健太郎氏に英雄的自己犠牲賞として各々 30,000 円を贈呈した。財源は基本財産の運用益である。静岡県藤枝市内で発生した住宅火災において、室内に人がいることに気付いた藤元氏が周囲に要請、居合わせた我妻、岡田両氏が室内に入り、火傷を負い、倒れている女性を救出した。

(5) 海外に於ける公益的事業助成(公⑤事業)

海外に於ける公益的事業に対する助成としては次の 5 件総計 1,300,000 円の助成を行った財源は日本地区からの助成金である。

- | | |
|---|-----------|
| ① 福岡クラブの「カンボジアの子ども達へ支援事業」 | 300,000 円 |
| ② 名古屋小児がん基金が行うベトナムの国立フエ中央病院小児がんセンターにおける造血幹細胞移植実施に向けての医療協力 | 300,000 円 |
| ③ ルワンダ共和国・Mulindi・ワンラブ・プロジェクト | 300,000 円 |
| ④ 芦屋クラブの「ベトナムでの芦屋キワニス文庫設置 | 100,000 円 |
| ⑤ Peace Field Japan が行う「“絆” プロジェクト」 | 300,000 円 |

(6) 世界の子ども達に奉仕する事業への助成（公⑥事業）

① アニュアル・ギビング・プログラム

各クラブにアニュアル・ギビング・プログラム（KCF が主導して行っている KCF の公益的事業への資金助成の財源を作るための世界的な募金活動）への参加を呼びかけ総額 2,995,000 円の募金が得られ、KCF の日本口座に振り込んだ。

② ヒクソン・フェロー寄附金

ヒクソン・フェロー（KCF が募集している一口 \$ 1000 の寄附金）9 名から 1,008,000 円の寄附があり、KCF の日本口座に振り込んだ。

KCF の日本口座の資金は KCF との協定により KCF 理事会の承認を得て日本国内の子どものための奉仕活動に使うことが出来るものである。本年度も上記(1)及び(5)の助成事業の財源として活用している。

③ エリミネイト・キャンペーン

国際キワニスが世界的に展開してきた妊産婦新生児破傷風撲滅のための募金活動（エリミネイト・キャンペーン）は、2015 年 12 月末をもって終了したが、個人からの寄附金 ¥5,297,500 があり、KCF へ送金手続きを行った。

2. 組織関係

(1) 定款の改正

改正はなかった

(2) 評議員の異動

退任 津村 潤治

新任 二見 和基

(3) 理事及び監事の異動

退任 塚越 孝三、三野 容志郎、橋田 紘一、重盛 徹志、早川 典宏

新任 伊藤 一實、太田 賀久、村井 正隆、中尾 桂子、

(4) 会議の開催

主たる会議の開催状況は次の通りである。

① 評議員会

定時評議員会 2018年11月26日(月)

② 理事会

第1回 2018年11月5日(月)

第2回 2018年11月26日(月)

第3回 2019年2月4日(月)

第4回 2019年3月25日(月) 書面による決議

第5回 2019年5月20日(月)

第6回 2019年5月31日(金) 書面による通達

第7回 2019年9月5日(木)

② その他

事業選定委員会 2018年3月12日(火)

(5) 管理費

財団の管理費に充当するための寄付を募ることとなり、2,948,000円の寄付があり、この範囲内で財団の管理費を賄った。

II. 業務の適正を確保するための体制の整備についての決定又は決議の内容の概要

該当するものはない。

2019年度事業報告書付属明細書

2018年10月1日から2019年9月30日まで

公益財団法人キワニス日本財団

役員名簿（兼職状況）

評議員

評議員	中田 一男	(東京)	元 大蔵省
評議員	川村 保憲	(名古屋)	愛知日野自動車(株) 代表取締役社長
評議員	前田 哲朗	(大阪)	元 関電カービス(株) 常務取締役
評議員	二見 和基	(高松)	(株)セキヤ 代表取締役社長
評議員	山木 紘	(京都)	ヤマキ商事(株) 代表取締役
評議員	河辺 善一	(札幌)	札幌河辺石油(株) 代表取締役
評議員	本間 充武	(千葉)	(株)ダイサン 代表取締役社長
評議員	山下 永壽	(熊本)	山下法律事務所 所長

理事

理事長	藤原 武平太	(東京)	元 ブルガリア国駐箚特命全権大使
理事	伊藤 一實	(東京)	JP 生きがい振興財団理事長
理事	清重 尚弘	(熊本)	九州ルーテル学院大学 前学長
理事	鈴木 信好	(名古屋)	元 ヤハギ緑化(株) 代表取締役会長
理事	太田 賀久	(高松)	高松帝酸(株) 代表取締役社長
理事	村井 正隆	(福岡)	ムライケミカルパック(株) 代表取締役社長
理事	荒木 幹光	(埼玉)	東京日語学院 学院長
理事	中尾 桂子	(熊本)	中尾ビル 社長

監事

監事	青野 厚子	(東京)	元 (株) アスキング 代表取締役
監事	岡野 英生	(名古屋)	公認会計士 (有)あずさ監査法人